

16. 脳出血発症前に SPECT にて脳血流低下が認められたアミロイド・アンギオパチーの一例

宇野 雅宣 阿部 晋衛 新井 久之
浅野 哲一 羽生 春夫 高崎 優
(東京医大・老)
杉木 修治 鈴木 孝成 阿部 公彦
(同・放)

症例は 79 歳, 女性. アルツハイマー型老年痴呆と診断され, 被殻出血を契機に再発性の脳葉型脳出血をきたし, アミロイド・アンギオパチーに伴う脳出血と考えられた. 本例は, 脳出血をきたす約 1 年前に施行しえた ^{123}I -IMP SPECT において, アルツハイマー型老年痴呆の特徴である側頭頭頂連合野の hypoperfusion 以外にも脳出血相当部位(右前頭葉)に hypoperfusion を認めた. この所見はアミロイド・アンギオパチーに伴う局所脳皮質循環障害を示唆しているものと考えられた. CT・MRI で病変が検出されない時期においても SPECT において hypoperfusion が検出され, アミロイド・アンギオパチーに伴う循環障害を客観的に評価できる可能性があり, 今後の症例の蓄積が望まれる.

17. ^{111}In -トランスフェリンを用いた肝硬変症における消化管への蛋白漏出の検討

中谷 尚登 成木 行彦 平野 盛久
瓜田 純久 大塚 幸雄 (東邦大・一内)

今回, 肝硬変症の患者の消化管への蛋白漏出について ^{111}In -トランスフェリン (Tf) を用いた蛋白漏出試験を行い検討した. 同時にシンチグラム上での検討も行った. 対象は腹腔鏡で確認した肝硬変患者 16 例で, 13 例に食道静脈瘤を 7 例に腹水を認めた. 方法は患者血漿 20 ml と ^{111}In -Cl 111 MBq (0.5 ml) を室温で 1 時間インキュベートし, ^{111}In と Tf を結合させた.

^{111}In -Tf 静注後 72 時間の蓄便中の放射能を測定し, 静注全放射能に対する百分率を求めた. 静注後, 経時的に 72 時間までガンマカメラで撮像した. 肝硬変の蛋白漏出量の平均値は $1.53 \pm 0.87\%$ であった. これは健康人の平均値 $0.48 \pm 0.26\%$ より有意に高値であった ($p < 0.001$). 単位便重量当たりでは $2.85 \pm 1.40\%/\text{kg}$ と, 健康人にならば上昇していた ($p < 0.001$).

18. 好酸球増多症を呈し, ^{67}Ga シンチグラフィにて異常集積を示した右房内血栓を合併した悪性リンパ腫の一例

武藤 浩 白崎 裕乃 細井 宏益
飯田美保子 山崎 純一 森下 健
(東邦大・一内)

著明な好酸球増多症を合併した悪性リンパ腫にて経過中にカテーテル血栓を認め, さらにガリウムシンチにて血栓部位に一致した集積を認めた症例を経験したので報告した.

症例は, 54 歳男性. 食欲不振, 腹部膨満感を主訴として来院. 入院後胃粘膜下腫瘍認めるも悪性所見は認められず, 入院時より著明な好酸球増多症を認めた. 入院経過中に心エコーにて IVH カテーテルの先端に付着した球状の血栓を認め, ガリウムシンチにて血栓存在部位に一致した集積を認めた. 治療にて好酸球増多症は改善したが, 後の心エコーにて血栓は消失し, ガリウムシンチにても同部位の集積は消失した. 剖検では胃原発の悪性リンパ腫であったが, 右房には異常所見は認められず, 肺にも塞栓は認められなかった. 好酸球増多症という血栓化傾向にありながらも, 本症例における血栓はその血栓形成の原因として, 従来の血栓形成とは異なる機序が関与しているものと考えられた.

19. ^{18}F -fluoride によるモルモットの骨代謝イメージング——3 コンパートメントモデルによる検討——

井上登美夫 平野 恒夫 富吉 勝美
織内 昇 館野 円 遠藤 啓吾
(群馬大・核)

高分解能動物用 PET SHR-2000 を用いて, モルモットの ^{18}F -fluoride の骨イメージングを行い, 局所骨代謝の定量的解析が可能であるか否かを検討した.

体重約 600 g のモルモットを麻酔した後, 頸動脈および頸動脈を確保した. ^{18}F -fluoride 18.5 MBq を静注し, 頸動脈より経時的に各 0.15 ml ずつ計 18 回採血し, 採血後 plasma 中の放射能を測定し入力関数としての時間放射能曲線を求めた. 一方, PET イメージは, 1 分間隔で経時的にイメージングを行った. 測定対象は部分容積効果の影響が少ないと考えられる胸椎とした. 測定結果に対し, FDG の定量的解析に用いられる 3 コンパートメント解析を適用したところ, 椎体の時間放射能曲線はよく近似されることを確認した.